

## 損失補てん求め市長に

西街区の事業は、公社が所有していた三島市一番町の土地〇・三四分を再開発するもので、市の公募で事業者に東急が選ばれた。東急の事業は地上十四階建て二百室のホテルを整備する内容で、現在は二〇二〇年

四月の開業に向けて建設工事が行われている。公募には、東急のみが応募した。市民の会が問題にしてい

るのは、公社が売却した西街区の土地〇・三四分のうち〇・三二分。四億百六十万円で東急に売却した

豊岡武士市長に対して損失の補てんを求めた。同会は地価三億六千万円余と、建物の解体費など九千万円余の計四億五千万円超の便宜を図った疑いを指摘している。

(佐久間博康)

## JR三島駅南口の再開発

### 市民団体が住民監査請求へ

# 「市が安価で土地売却」

三島市のJR三島駅南口の再開発事業をめぐり、市が市土地開発公社に西街区の土地を不当な安価で東京急行電鉄に売却させ、市に損失を与えたなどとして、事業に反対する地元住民らでつくる「三島駅南口の整備を考える市民の会」が今月末にも、



よう指導監督する役割を怠ったなどと主張している。

市管財課の担当者は「監査請求の書類がまだ届いていないのでコメントできない」と話した。



東急がホテルの建設工事を進めているJR三島駅南口の西街区=三島市一番町で

市民の会代表の渡辺豊博さん(左)は「JR三島駅前

という市民の貴重な土地を

東急ありきで不適に安く売

ったのではないか。納得で

きない。真相を究明した

い」と訴える。住民監査請

求が棄却された場合は、住

民訴訟を行う方針。